

新型コロナウイルス禍のなかでスポーツエイド・ジャパンが主催する ランニングイベント等の開催に関わるガイドライン

2020年6月19日

NPO 法人スポーツエイド・ジャパン

依然として新型コロナウイルス禍の終息が見通せない状況下においては、引続き感染拡大防止に努めていかなくてはならないことは明らかなです。加えて、経済の健康、人々の心理的な健康を守ることもまた必要不可欠です。これからは「新型コロナウイルスとの共存」、すなわち新型コロナウイルスの科学的事実をみつめ、過剰に恐れるのではなく「新たな日常」を構築して前に進まなくてはならないと考えます。

私たちは、それらのことを踏まえ、さらに後述「現況での NPO 法人スポーツエイド・ジャパン主催イベント開催についての考え方」に沿って、また「イベント開催における感染拡大防止対策」を講じたうえで、社会貢献活動としてのランニングイベント等を開催していきたいと考えています。

なお、本ガイドラインの内容は、新型コロナウイルスの感染状況、行政の要請、方針、指針等の変更によって、見直していくものとします。

I NPO 法人スポーツエイド・ジャパンの活動目的

1. 年齢、性別、障害の有無を問わず、あらゆる人々に対し、ランニング、ウォーキング、登山を主とした生涯スポーツの普及と振興を図り、健全な社会づくりに寄与すること
2. 地域振興に貢献すること

II 現況での NPO 法人スポーツエイド・ジャパン主催イベント開催についての考え方

1. 社会的ルール(行政の要請、方針、指針、関係機関の方針、意向等)、会場所在地、コースとなっている地域の要望等を踏まえた上で、開催可否等の判断をする
2. 開催する場合は、日本スポーツ協会がスポーツ庁の助言を得て作成した「スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」等を参考に、でき得る限りの感染拡大防止対策を講じて運営にあたる

III イベント開催における感染拡大防止対策

1. イベント前

(1) 参加者に本イベント参加にあたって下記の新型コロナウイルス感染拡大防止のために遵守すべき事項を記載したものを事前に送付して協力を求める。

- ・発熱等、体調が思わしくない場合は、イベント参加をとりやめること
- ・可能であれば公共交通機関を利用しないで会場に出かけること
- ・マスクを持参すること(競技中以外はマスクを着用すること)
- ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行うこと(消毒液は主催者側で用意)

- ・他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ 2m)を確保すること
- ・イベント中に大きな声で会話をしないこと
- ・主催者が決めた感染防止のための措置を遵守し、主催者の指示にしたがうこと
- ・イベント前後のミーティングや懇親会等においても三つの密を避けること
- ・参加者はイベント終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に濃厚接触*者の有無等について速やかに報告すること

*厚生労働省が定めた濃厚接触の定義

①感染した人が発症する 2 日前から 1 メートル程度の距離でマスクをせずに 15 分以上会話するなどの接触があれば濃厚接触となる。

②同居していた人や、十分な感染防止策を取らないまま患者の看護や介護をしていた人が対象となる。

(2)参加者にナンバーカード、イベントプログラム等、イベントに必要なものはすべて事前に送付し、当日の混雑(密状態)を避ける。

(3)以下のようにイベント会場づくりを行う。

- ・イベント本部、給水所、トイレ等、必要と思われる場所に手洗い場を設置、手指消毒剤を置く。
- ・参加者が距離(できるだけ 2m)をおいて並ぶための工夫をする。

2. 参加者来場時

(1)マスク着用を義務づける。

- ・参加者は競技中以外はマスクを着用する。
- ・スタッフ、および応援者、サポーター等は常時(飲食時、および他者との距離を十分に空けられる場合を除く)、マスクを着用する。また、スタッフは担当する業務内容によってフェイスシールドを併用する。

(2)参加者(応援者、サポーター等も含む)同士、参加者とスタッフ等との距離(できるだけ 2m)を確保するようにする。

(3)参加者(応援者、サポーター等も含む)同士、参加者とスタッフの大きな声での会話等を慎むようにする。

(4)参加者の体調を確認する。

- ・体温測定…参加者の検温を行う場を設ける。
- ・体調等チェック表(チェック項目は以下の通り)の提出を義務づけ、体調等に問題がある場合は参加見合わせを求める。

No. 氏名

イベント当日の体温 度

イベント当日前 2 週間における以下の事項の有無

*無であればレ点を入れてください。

平熱を超える発熱(おおむね 37 度 5 分以上)

- 咳、のどの痛みなど風邪の症状
- だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)
- 嗅覚や味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる人
- 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航、または在住者との濃厚接触

(5) 各スペースでの感染拡大予防対策を徹底する。

①更衣室

- ・広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。
- ・ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じる。
- ・スペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所については、こまめに消毒する。
- ・スペース内の換気に配慮する。

②トイレ

- ・複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ等)については、こまめに消毒する。
- ・手洗い場には石鹸(ポンプ型)を用意する。

3. イベント中

(1) スタート

- ・スタート前にはできるだけ 2m の距離を空けて並び、基本 1 人ずつの時差スタートとする(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)。

(2) 競技中

- ・できるだけ 2m の距離を空けての走行を原則とする(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)。
- ・前の人の呼気の影響を避けるため、前後一直線に並ぶのではなく、間隔を空けての並走、あるいは斜め後方での走行を原則とする。
- ・競技中に唾や痰を吐くことを禁止する。

(3) 給水所(エイドステーション)での飲食

- ・飲食物を取り扱うスタッフは必ずマスク、グローブを着用する。
- ・飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行う。
- ・スポーツドリンク等の飲料については、使い捨ての紙コップで提供する。
- ・参加者が持参したコップ、ペットボトル等に飲料を注ぐ場合は、必ず担当スタッフが行う。
- ・果物等の食品については、参加者が同じトング等で大皿から取り分ける方式を避け、1 人分を小皿に取り分けたものを参加者に提供するなどの工夫をする。

- ・指定場所内で飲食し、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話を慎むことを求める。
- ・飲み残しや食べ残しは指定の場所に捨てる。
- ・鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する。また、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する。
- ・主催者以外の者が参加者に飲食物を提供する行為(私設エイドステーション)を自粛するように求める。

4. イベント後

- (1) イベント終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに濃厚接触者の有無等について報告を義務づける。
- (2) 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、イベント当日に参加者が提出した体調チェック表を1月以上保存しておく。

以上